



ハイブリッド | 参加費無料

京都大学桂キャンパス桂ホールまたは オンライン

2026.11.27 FRI 13:00

第7回光量子センシングワークショップ

量子もつれで拓く新しい光センシング・赤外光子検出の未来
～ Q-LEAP プロジェクト 10 年の成果 ～

「量子もつれ光が、光計測の限界や未来を変えるーQ-LEAPプロジェクト10年の到達点」

竹内 繁樹 (京都大学)

「光センシングを支える量子もつれ光子発生光源」

徳田 勝彦 (島津製作所)

「赤外量子光の発生・評価とテラヘルツ領域への展開」

内田 健人 (京都大学)

「超伝導ナノワイヤを用いた中赤外光子検出技術」

寺井 弘高 (情報通信研究機構)

量子技術を利用した計測・センシング技術は近年大きな注目を集めています。2018年に始まった文部科学省による「光・量子飛躍フラッグシッププログラム (Q-LEAP)」の基礎基盤研究グループの活動の一環として、産業界や大学等の若手研究者・技術者をはじめ幅広く光量子センシングに理解を持って頂くために本ワークショップを毎年実施しています。第7回目となる今回は、「量子もつれで拓く新しい光センシング・赤外光子検出の未来 ～ Q-LEAPプロジェクト10年の成果～」のテーマで、本グループの4つの研究チームの代表者からこれまでの研究成果をご紹介します。ご参加を検討いただければ幸いです。

主催 京都大学大学院工学研究科電気電子デジタル理工学専攻量子情報工学分野、京都大学大学院工学研究科附属量子センシング教育研究センター

共催 京都大学成長戦略本部、京都大学総合研究推進本部、京都大学大学院工学研究科、京都大学光量子センシング社会実装コンソーシアム、京都大学卓越大学院プログラム先端光・電子デバイス創成学、京都大学大学院教育支援機構 SPRING プログラム (量子分野)、株式会社 TLO 京都、公益財団法人京都高度技術研究所 (予定)

後援 公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本分光学会、一般社団法人日本赤外線学会、一般社団法人日本光学会、一般社団法人日本物理学会、一般社団法人電子情報通信学会 (予定)

連絡先：京都大学大学院工学研究科 加賀田 075-383-2289 Email: ku-qleap-ws@qip.kuee.kyoto-u.ac.jp

締切：11.20 FRI

定員：80名(現地)、300名(オンライン)程度 定員になり次第、申し込みを締め切ります。



〔イベント詳細と申込み〕 <https://photonsensing.org/irqas/workshop/seminar07.html>